

世界発信コンペティション
「製品・技術(ベンチャー技術)部門」
【応募用紙】

○応募受付期間

平成29年3月6日(月)～平成29年5月26日(金)

○応募用紙の提出方法

下記宛先まで持参または郵送、宅配便等(応募締切日までに必着)

○お問い合わせ先

【製品・技術(ベンチャー技術)部門】
東京都産業労働局商工部創業支援課
住 所 〒163-8001
東京都新宿区西新宿2-8-1 都庁第一本庁舎30階中央
電 話 : (03) 5320-4763 FAX : (03) 5388-1462
Email : S0000474@section.metro.tokyo.jp
URL : <https://www.sekai2020.tokyo/>



世界発信コンペティション

「製品・技術(ベンチャー技術)部門」

応募記載項目一覧

下記の項目について、応募用紙の記載例に従って記載してください。

| | | |
|----|---------------------------|----|
| 1 | 会社概要 | 1 |
| 2 | 応募製品・技術の概要 | 3 |
| 3 | 応募製品・技術の開発・提供の目的や背景、経緯、意義 | 4 |
| 4 | 応募製品・技術の機能・原理 | 5 |
| 5 | 応募製品・技術の権利関係について | 6 |
| 6 | 応募製品・技術の市場性 | 7 |
| 7 | 応募製品・技術の販売実績及び今後の販売計画 | 8 |
| 8 | 応募製品・技術の受賞歴 | 9 |
| 9 | 会社の特徴・ビジョン・成長戦略 | 9 |
| 10 | 経営者略歴 | 10 |
| 11 | 株主構成について | 10 |
| ※ | アンケート(応募の経緯及び助成金等利用歴) | 11 |

※応募用紙提出に際しての注意事項

- ・応募用紙はクリップで止めて提出してください。(ホッチキス不可)
- ・応募用紙は片面で印刷してください(両面不可)

※欄は記入不要です。

1. 会社概要

※受付番号

| | | | | |
|-----------------------------|--|-------------------------|---------------------------|------------------|
| 会社名 もしくは 代表企業 | フリガナ | セカイハッシンコンペティションカブシキガイシャ | | |
| | 世界発信コンペティション株式会社 | | | |
| 所在地 | フリガナ | トウキョウトチヨダクカンダイズミチョウ | | |
| | 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町〇-〇-〇 | | | 代表者印を押印 ください。 |
| 代表者名 | 役職名 | 代表取締役社長 | フリガナ | セカイ タロウ |
| | | | 氏名 | 世界 太郎 印 |
| 担当者名 | 部署名 | 総務部総務課 | フリガナ | ハッシン ジロウ |
| | | | 氏名 | 発信 次郎 |
| 電話 | 03-5822-111x | E-mail | jiro_hasshin@sekai2020.jp | |
| FAX | 03-5822-111x | URL | https://sekai2020.jp | |
| 業種 | <input checked="" type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他 () | | | |
| | | | | |
| 従業員数 | 10 人 | | 資本金 | 30,000 千円 |
| 創業期日 | 昭・平 10 年 9 月 | | | |
| 応募製品・技術の名称 | 〇〇製造装置「〇〇〇〇」 | | | |
| 応募製品・技術のテーマを30字以内で記入してください | 〇〇の量産を可能にし、かつ環境リスクを低減した小型装置 | | | |
| 応募製品・技術の販売・提供開始年月日 | 平成 27 年 12 月 24 日 | | | |
| 応募製品・技術年間販売量・提供量(販売1年以内は見込) | 3000 台 | 考案期間 | 平成 25 年 1 月～ | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 前年実績 <input type="checkbox"/> 見込 | | 平成 27 年 1 月 | |
| 応募製品・技術販売・提供価格 | 50,000 円 | 考案経費 | 35,000,000 円 | |
| 経営層もしくは開発責任者に女性はいますか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 経営層に女性がいる <input type="checkbox"/> 開発責任者に女性がいる 具体的な役職、従事内容 (代表取締役 〇〇、応募製品の開発を主導) | | | |

中小企業団体等及び中小企業グループ全員の構成員をご記載ください。

(中小企業団体等及び中小企業グループで応募される方のみ)

| | | | | |
|-------|--|-----------------------|-----|-----------|
| グループ名 | フリガナ | 〇〇グループ | | |
| | 〇〇グループ | | | |
| 会社名 | フリガナ | セカイハッシンプロジェクトカブシキガイシャ | | |
| | 世界発信プロジェクト株式会社 | | | |
| 所在地 | フリガナ | トウキョウトチヨダクカンダイズミチョウ | | |
| | 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町〇-〇-〇 | | | |
| 業種 | <input checked="" type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他 () | | | |
| | 従業員数 | 10 人 | 資本金 | 30,000 千円 |
| 会社名 | フリガナ | | | |
| | | | | |
| 所在地 | フリガナ | | | |
| | 〒 | | | |
| 業種 | <input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他 () | | | |
| | 従業員数 | 人 | 資本金 | 千円 |
| 会社名 | フリガナ | | | |
| | | | | |
| 所在地 | フリガナ | | | |
| | 〒 | | | |
| 業種 | <input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他 () | | | |
| | 従業員数 | 人 | 資本金 | 千円 |

●グループ名は必須です。

●用紙が足りない場合は、複数コピーして作成してください

2. 応募製品・技術の概要

(製品・技術の セールスポイント や 既存製品・技術と比較した場合の優位点、特徴 などを知りやすく記入してください。また、製品・技術のパンフレット・写真等があれば添付して下さい。)

当社の〇〇製造装置「〇〇〇〇」は〇〇〇〇を可能にした初めての装置であり、以下のような特徴がある。

.....
.....

また、従来の類似製品としては、〇〇社から「△△△」、□□社から「◇◇◇」が販売されている。両製品とも装置が大きく、設置場所が限定されてしまう。また、△△までしか作ることができない。 当社製品は従来の××部分の大きさを、類似商品の1/2程度まで小型化するとともに、.....

注意事項

応募いただく製品・技術の概要を、出来るだけ分かりやすく記入してください。比較対象となる製品・技術について説明し、その上で応募製品・技術の優れた点を記入してください。

添付する写真は、製品が明確にみえるものであれば、スナップ写真あるいはカラーコピーなどでも構いません。

(製品完成予想図、実際の製品と異なる試作品の写真はお断りします。)

※過去に世界発信コンペティションもしくは東京都ベンチャー技術大賞への応募歴があり、今回の応募製品・技術が過去の応募製品・技術の改良型である場合はその改良点を記入してください。

- ・ 過去応募年 20××年
- ・ 過去の応募製品・技術名 〇〇製造装置「△△△△」
- ・ 改良点

前回応募した「△△△△」は〇〇の量産化に対応した装置ではなかった。今回応募した〇〇製造装置「〇〇〇〇」は〇〇の量産化を可能とするため、■■に改良を加え、.....

注意事項

どのような点が過去の応募製品・技術から改良されたのか、詳しく記入してください。

●記入スペースが足りない場合は枠を広げるか、別紙を添付してください。

3. 応募製品・技術の開発・提供の目的や背景、経緯、意義

（応募製品・技術の開発・提供の目的・社会的背景や企業として製品化に至った経緯、本製品・技術の提供による意義などについて記入して下さい。）

【目的】〇〇を活用した〇〇社会の実現が望まれている。そこで、〇〇大学の技術をベースに新しい〇〇製造技術の開発に取り組んできた。

【背景】△△装置の小型化や安定稼働には〇〇が必要不可欠であるが、これまで量産が不可能であった。各メーカーから、〇〇を量産・安定的に供給することが強く求められていたが、環境面や価格面で実用化にあたり多くの問題点が指摘されていた。

【経緯】当社は、創業当初から〇〇製造技術の開発に取り組んできた。取引メーカーからの要望を受け、これまでの製品の改良に取り組んだ。当社としても、製品の向上なしには今後市場の拡大が望めないため、社内一丸となり事業化を進めた。

【意義】〇〇の製品化により、従来、解決が困難であった□□といった社会的課題解決を図ることが可能となった。

注意事項

事業実現までの状況について、戦略や提携、支援体制などを記入してください。

4. 応募製品・技術の機能・原理

(応募製品・技術の機能や原理について、新規性に触れつつ詳しく説明してください。)

従来装置の2倍の製造能力にするため、□□特性のある、○○素材を用いた。○○を使うことにより、△△の数値が増加し、製造能力が向上した。

注意事項

実証データ等の根拠を示し、本製品・技術のコアとなる機能・原理を詳しく記入してください。

記載の情報につきましては、秘密保持を厳守するとともに、審査目的以外には、使用いたしません。

●記入スペースが足りない場合は枠を広げるか、別紙を添付してください。

5. 応募製品・技術の権利関係について

(1) 応募製品・技術は自社開発の製品・技術ですか？

はい いいえ

(2) 応募製品・技術に関する特許及び実用新案、意匠、商標（申請中のものを含む）がある場合、または他社権利を利用している場合は、以下に詳細を記載してください。

| 「出願番号」 あるいは 「特許番号」 「登録番号」 | 出願 あるいは 登録 年月日 | 権利化状況 ※○をつけてく ださい | 【特許・実新】 発明・考案の名称 【意匠】物品名 【商標】 指定商品・指定役 務並びに商品・役 務の区分 | 出願人名 | 権利利用 自社権利を利用、 他社権利利用など ※○をつけて ください | 既存技術について 類似の他社製品、問題特許、 先行技術調査結果など 既存技術の情報（出願番号 や製品資料など）とその技 術との違いや対策方法をわ かる範囲でご記入くださ い。 |
|------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|--|--------------|--|--|
| 特許出願201 3-123×× × | 2013年 ● ● 日 | 権利化 【審査請求】 請求 ・ 未請求 | ○○○の量産方法 及び製造装置 | 世界コン ペ(株) | <p>○ 自社権利 (単独出願)</p> <p>・</p> <p>共同出願 (持分 %)</p> <p>他社権利を利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)</p> | <p>問題特許：「●●製造方法」 (特許公開 2009-246××) ※問題特許との違い：問題 特許では××を用いた製造 方法が用いられているが、 申請技術は■■を用いて◆ ◆な処理を加えているため、 問題特許にくらべて量 産性が向上している。また、 ■■を用いている為、問題 特許には抵触しないと考 えている。</p> |
| | 年 月 日 | 権利化 【審査請求】 請求 ・ 未請求 | | | <p>○ 自社権利 (単独出願)</p> <p>・</p> <p>共同出願 (持分 %)</p> <p>他社権利を利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)</p> | |
| | 年 月 日 | 権利化 【審査請求】 請求 ・ 未請求 | | | <p>○ 自社権利 (単独出願)</p> <p>・</p> <p>共同出願</p> <p>他社権利を利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)</p> | |
| | 年 月 日 | 権利化 【審査請求】 請求 ・ 未請求 | | | <p>○ 自社権利 (単独出願)</p> <p>・</p> <p>共同出願 (持分 %)</p> <p>他社権利を利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)</p> | |

●用紙が足りない場合は、複数コピーして作成してください。

6. 応募製品・技術の市場性

(1) 機能・性能・価格等を含めて、既存の製品・技術と比較して有用性に優れ、市場性が高いことを製品・技術の市場規模・シェアに言及の上、説明してください。

本製品は、性能面、機能面で、既存の下記製品と比較して大きく優れている。このように、当社の製品は、総合的に見て、△△などを求める大多数のユーザーに非常に適した製品となっており、事実、当社製品利用ユーザーの満足度は〇〇%であるなど、高い評価を受けおり、市場性は高い。

| | 機能 | 性能 | 価格 | 製品・技術の特徴 |
|---------|----|----|----|--|
| 当社製品・技術 | ○ | ◎ | ○ | 性能面、機能面で、既存のサービスと比較して、〇〇、××と大きく優れている。また、△△と使い勝手が良く、価格面においても、既存サービスの価格帯と同等若しくは低廉となっている。 |
| A社製品・技術 | △ | ○ | △ | |
| B社製品・技術 | ○ | △ | × | |

・市場規模

〇〇の市場規模が△△億円であり、〇〇を製造する工場は概ね△△社ある。製造ラインの設備更新が10年程度と想定すると、毎年×社程度が機器購入を検討すると考えられる。また、これらの機器の平均単価が◇◇円だとすれば、これらから、想定される市場規模は◆◆億円と想定される。

・シェア（現状→今後の目標）

当社としては以下の考えにより、△年後のシェア〇%獲得を目指す。（シェア獲得の考え方）既存製品と比較して■■に優れており、シェア〇%の獲得は実現可能と考えている。

(2) 安全性・信頼性・環境への配慮等について記入して下さい。なお、第三者機関による応募製品・技術の試験例などの検査結果があれば添付して下さい。

（安全性）『〇〇〇〇』は世界的にも、今後の開発期待される分野であるが、既存の方法では化を実現した。この〇〇により、将来対応を可能としている。

（信頼性）『〇〇〇〇』は当社の有する、特許技術や、創業以来培ってきた〇〇のノウハウなど××施設に導入されるなど抜群の信頼（各種証明）別添した〇〇性能検査報告書に示すとおり・・・

(3) 応募製品・技術の生産・販売・提供にあたって、必要な許認可等があればその取得状況を含めて記入して下さい。

●記入スペースが足りない場合は枠を広げるか、別紙を添付してください。

7. 応募製品・技術の販売実績及び今後の販売計画

(1) 過去3年間の販売実績及び今後の販売計画を記入してください。

(※直近2期分の損益計算書、貸借対照表及び附属明細書を添付してください。)

(単位：千円)

| | 平成26年度 (年月～ 年月) 実績 | 平成27年度 (年月～ 年月) 実績 | 平成28年度 (年月～ 年月) 実績 | 平成29年度 (年月～ 年月) 計画 | 平成30年度 (年月～ 年月) 計画 | 平成31年度 (年月～ 年月) 計画 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会社の 売上高 | | | | | | |
| 経常利益 | | | | | | |
| 応募製品・技 術の提供数 | | | | | | |
| 応募製品・技 術の売上高 | | | | | | |

(2) 今後の販売計画について、その見込み等の根拠を示しつつ、説明してください。また、今後の展開について特に強調すべきことがあればお書きください。

○年○月までに○個販売実績があり、年々売上を伸ばしている。今後、△の需要が見込まれるため、次年度以降は□□個を販売する見込みである。

(3) 販売方法（販路やユーザー層について記入してください。）

当社では、業務提携に基づく販売を以下の対象分野ごとに行っているが、○○○において△△は不可欠なツールであるため、下記に該当する分野をターゲットとしている。

1. ○○○ (○○)
2. △△△
3. □□□

なお、××などのマーケット販売を予定している。また、環境分野の○○○での連携を検討している。

注意事項

必要に応じ、図等を用いて説明していただいても結構です。

●記入スペースが足りない場合は枠を広げるか、別紙を添付してください。

8. 応募製品・技術の受賞歴

(国・自治体主催のコンペ等受賞歴があれば記載してください。)

東京都主催 「〇〇〇大賞 優秀賞」受賞(平成27年度)

東京都中小企業振興公社主催 「〇〇〇大賞 奨励賞」受賞(平成28年度)

9. 会社の特徴・ビジョン・成長戦略

(将来的なビジョンや成長戦略、他組織との連携(都外企業や大学等)の実施状況などについて記入してください)

当社は、〇〇大学の〇〇教授の技術を応用した製品開発に取り組むベンチャー企業である。主に〇〇についての研究開発及び事業化を進めている。当社代表は、かつて□□社において□□の実用化に取り組んでいた実績があり、技術顧問として上記〇〇教授のほか、△△大学の△△教授などを向かえ、各大学の研究室と連携しながら開発にあたっている。自社工場等を持たず外部製造委託を行い、当社は研究開発に特化している。また、販売は□□商社と代理店契約を提携している。資金面は△△キャピタルなどから融資を受け、研究開発にあたっている。今後は～頃までに、◇◇を目指す。

注意事項

会社の特徴、経営戦略などについて記入してください。

●記入スペースが足りない場合は枠を広げるか、別紙を添付してください。

10. 経営者略歴

昭和◇◇年 12月 生まれ

昭和〇〇年 3月 〇〇大学××学部卒業

昭和〇〇年 4月 △△株式会社 入社

平成××年 8月 同 退社

平成△△年 1月 株式会社〇〇 設立

11. 株主構成について

(1) 概ね6割程度を網羅する形で株主名義及び保有割合を記載してください。

○× △□ 30%
◇◇株式会社 25%
有限会社〇〇 10% 他

(2) 上記(1)の中に大企業あるいは外国法人がある場合には、当該株主名と業種、資本金、従業員数を記載してください。

大企業：◇◇株式会社 業種：サービス業 資本金：2億円 従業員数：3,210人

●記入スペースが足りない場合は枠を広げるか、別紙を添付してください。

アンケート

・ 今回の応募を知った経緯を教えてください。（複数回答可）

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> ポスター・チラシ | <input type="checkbox"/> 新聞記事（新聞名：_____） |
| <input type="checkbox"/> HP（産業労働局・中小企業世界発信プロジェクト2020） | <input type="checkbox"/> ダイレクトメール |
| <input type="checkbox"/> 東京都中小企業振興公社 広報誌「アーガス21」 | <input type="checkbox"/> 東京都中小企業振興公社ビジネスナビゲーターから紹介 |
| <input type="checkbox"/> 東京都知的財産総合センター 戦略アドバイザーから紹介 | <input type="checkbox"/> その他の東京都中小企業振興公社もしくは東京都職員から紹介 |
| <input type="checkbox"/> 区市町村の紹介 | <input type="checkbox"/> 都立産業技術研究センターから紹介 |
| <input type="checkbox"/> メールマガジン 配信元（_____） | <input type="checkbox"/> その他（_____） |

・ 過去に当該製品・技術等について東京都や東京都中小企業振興公社の助成金等を利用したことがあれば、名称を記入して下さい。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ニューマーケット開拓支援事業 | <input type="checkbox"/> 事業可能性評価 |
| <input type="checkbox"/> 新事業分野開拓者認定・支援事業（東京トライアル発注認定制度） | <input type="checkbox"/> 創業融資 |
| <input type="checkbox"/> 新製品・新技術開発助成事業 | <input type="checkbox"/> 成長産業等設備投資特別支援助成事業 |
| <input type="checkbox"/> 市場開拓支援事業 | <input type="checkbox"/> 先進的防災技術実用化支援事業 |
| <input type="checkbox"/> 製品開発着手支援助成事業 | <input checked="" type="checkbox"/> 次世代イノベーション創出プロジェクト2020助成事業 |
| <input type="checkbox"/> 成長産業分野の海外展開支援事業 | <input type="checkbox"/> 革新的サービスの事業化支援事業 |
| <input type="checkbox"/> 東京都知的財産総合センター（相談、セミナー） | <input type="checkbox"/> 東京都知的財産総合センター（助成金） |